

かけはし

もも組
～ダイナミックワールド号～

4月から現在において、もも組で展開されている遊びの一部やその遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

★ 室内遊び「ままごと」からの発展 ★

4月、5月。一人ひとり思い思いに遊んでいた遊びから様々な遊びに発展。

1学期の遊び



☆ぬいぐるみのお世話
～病院ごっこ
おままごとのぬいぐるみを、おんぶをしたり、ベットに寝かせたり、薬を飲ませてあげたり。病院ごっこへ発展していきました。



☆ピクニックごっこ
お弁当の日を経験したあとから始まった遊び。ままごとの食べ物や空き箱に詰めて、お部屋や廊下など、好きな場所に運んでピクニックのようにして遊びました。



☆電車ごっこ
スポンジブロックで遊んでいるうちに、長い電車のできあがり。「出発しますよ～」「どこまで行きますか～」と保育者が声をかけると、いつの間にかこんなにたくさん子どもたちが集まってきました！

2学期の遊びの発展



パーテーションを使って電車の窓ができあがり！



「おばけ駅」でお弁当を食べる子どもたち。



「金川の森」で拾ってきたどんぐりを触ったり、どんぐりから出てくるソウムシを見つけたりしている子どもたち。

☆ピクニックごっこと電車ごっこが合体

2学期のある日、椅子を並べて座り、楽しそうにお弁当を食べている姿が見られたので、「ここは電車の中ですか？」と尋ねると、「うん！電車でお弁当食べるの」と子どもたち。さっそく、電車の気分が味わえるように、パーテーションで窓をつくと、次々にお客さんが集まってきました。電車が満員になっていったので、段ボールでさらに電車を大きくしていきました。ハロウィン前には、おばけをつくって遊び、それがおばけ駅に。遠足のあとは、電車で「金川の森に行こう！」という話に。拾ってきたどんぐりを自由に触れるコーナーもできました。電車に乗っているところなどピクニックに出かけています。

★ 戸外遊び「砂遊び」からの発展 ★

お天気の良い日は、太陽の光を浴びて、季節を感じながら戸外遊びをしています。砂遊びを中心に、滑り台や網渡りなど、体を動かして遊ぶ遊具も人気です。季節のものを取り入れたり、日に日に体力もついてきて、遊び方にも変化が見られています。

1学期の遊び



☆砂遊び

1学期の戸外遊びの中心は、砂遊びでした。砂の感触を味わいながら、おのおの、カップに砂を入れたり、シャベルですくってお山をつくらしたり。やがて、つくったものを「食べて」と友達に渡したり、えのきのおうちをお店屋さんにして、「いらっしやいませ～」とやりとりしたりする姿が見られるようになっていきました。



2学期の遊びの発展



☆秋の自然物集め

園庭に落ちている葉っぱや小枝、木の実を集めて遊びだした子どもたち。「ポッキーみたい！」と小枝をたくさん集める子ども。砂の上に飾って、ケーキをつくったりもしています。



☆落ち葉の屋根、おもしろい！

落ち葉探しをしていると、日よけの上に落ち葉をたくさん発見！保育者が下からたたくと、落ち葉がふわふわ跳んでいるのみに見えて、子どもたちが集まってきました。



☆落ち葉を貼りつけてみよう

落ち葉や小枝がたくさん集まったので、保育者が、自由に自然物を貼りつけられるボードを用意。「これきれいだから」と、お気に入りのを選んで貼りつけていました。



☆砂山を登り降り

砂場の隣にある砂山。最初の頃は、手をついたり、転ばないように慎重に登り降りしたりしていた子どもたちですが、今では、坂道を駆け登ったり、駆け降りたり。時々、お山の頂上発表のステージにもなっています。



☆平均台と高いところからのジャンプ

体の使い方が上手になってきて、バランスを取りながら平均台にすすんで挑戦する子どもが増えました。一番高いところまで登り、保育者と手をつないでジャンプ！